

事業用自動車事故調査報告書 概要

～トラクタ・コンテナセミトレーラの衝突事故(東京都葛飾区)～

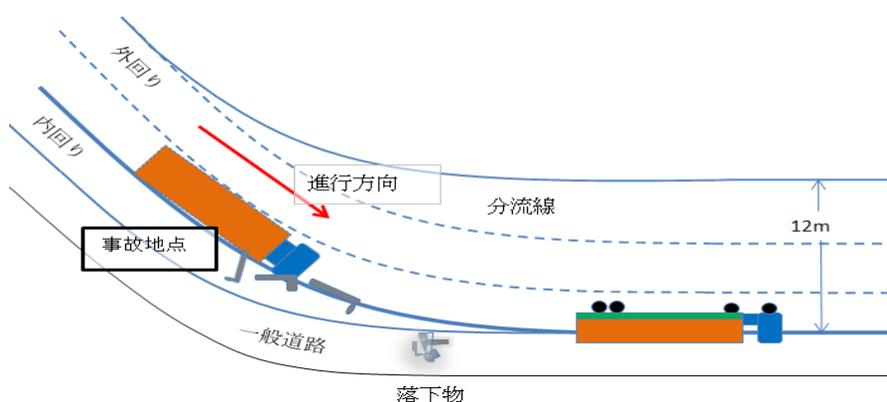
事故概要

平成26年12月23日12時30分頃、東京都葛飾区の首都高速中央環状線の高架道路において、トラクタ・コンテナセミトレーラが国際海上コンテナを積載して走行中、左カーブを曲がり切れずに道路右側の側壁に倒れ込みながら衝突した。

この事故により、トラクタ・コンテナセミトレーラの運転者が死亡した。また、一般道路を走行していた小型トラックの運転者が落下物の巻添えにより軽傷を負った。



事故状況図



原因

- ・トラクタ・コンテナセミトレーラの運転者が、**制限速度を超過**する速度から十分な減速を行わないままハンドル操作を行ったことにより起きたものと考えられる。
- ・事業者においては、コンテナ内の積載物の**積載状態**や**固縛状態の情報**が入手できておらず、運転者も把握していなかった。また、運転者は、トラクタ・コンテナセミトレーラの**運転特性に対する認識が不足**していた可能性や、運行管理者としての勤務により、**疲労が蓄積**した状態で運転を行っていた可能性が考えられる。

再発防止策

★事業者は、国際海上コンテナの輸送を行う場合、コンテナの**重量、品目名、固縛の状況等の情報**を収集し、これらの情報を運転者に伝達するとともに、**積荷の情報等に応じた運行指示**や、運行経路についても適切に指示をする。

★事業者は、運転者に対し、「**国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル**」を活用し、実践的教育に取り組む。